

千羽鶴（1953）

メディア 映画

ジャンル ドラマ ロマン스

製作国 日本

色彩 B&W

時間 111分

初公開日 1953/01/15

公開情報 大映

【解説】

芸術院賞を受賞した川端康成の同名小説を、新藤兼人が脚色、吉村公三郎が監督した。撮影を宮川一夫、音楽を伊福部昭が担当。1958年と1969年にリメイク版が製作されている。

太田夫人は娘の文子を伴って出かけたお茶会で、かつての愛人の息子である三谷菊治と出会う。菊治はそのお茶会で、稲村ゆき子と見合いをしたばかりだった。菊治に今は亡き愛人の面影を見た太田夫人は、彼を軽井沢の別荘に誘い、関係を結んでしまった。太田夫人を憎むお茶の師匠ちか子は、菊治とゆき子の縁談を進めようとする。また文子も不倫を看過することができず、母を止めようとしていた。菊治は稲村家を訪れ、ゆき子との縁談を進めるが、そのころ太田夫人が服毒自殺を図ってしまう。

【クレジット】

監督 吉村公三郎

原作 川端康成

脚本 新藤兼人

撮影 宮川一夫

美術 丸茂孝

音楽 伊福部昭

出演 木暮実千代

木村三津子

乙羽信子

杉村春子

森雅之

清水将夫